

建築研究所ニュース



平成25年8月28日

建築研究資料 No.145 「建築物の長期使用に対応した外装・防水の品質確保ならびに維持保全手法の開発に関する研究」の公表について

この度独立行政法人建築研究所では、建築研究資料「建築物の長期使用に対応した外装・防水の品質確保ならびに維持保全手法の開発に関する研究」をとりまとめ、ウェブサイトに掲載しましたのでご案内致します。

この研究資料は、建築物の長期使用に対応した材料・部材の品質確保・維持保全手法の開発に関する研究の一環として行った、外装仕上げ及び防水分野の検討結果をとりまとめたものです。“仕上塗材、塗料”、“タイル張り仕上げ、モルタル塗仕上げ”、“外壁カーテンウォール等”、“メンブレン防水、シーリング防水”を対象とし、リファレンス・サービスライフの提案、経年劣化の体系化、劣化度判定に使用する標準パターン写真の整備等を行った結果を各章で報告しています。終了後25年余を経過した「建築物の耐久性向上技術の開発」（旧建設省建築研究所、1980～1984年）の成果について、現状の技術や社会的状況に適合できるよう見直すことも目的とし、一部の成果は同プロジェクトの成果を基に検討を行っています。

建築物の設計や維持保全に携わる関係各位に広く閲覧、活用いただき、建築物の長寿命化に寄与することを期待しています。

建築研究資料は、web版として下記URLよりダウンロード可能です。また、製本版については後日出版予定です。

ダウンロードURL

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/data/145/index.html>

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所属 材料研究グループ
氏名 古賀純子（こがじゅんこ）
電話 029-864-6617（直通）
Fax. 029-864-6772
E-mail jkoga@kenken.go.jp

建築研究資料 No.145

建築物の長期使用に対応した外装・防水の品質確保ならびに 維持保全手法の開発に関する研究

目次

1. はじめに
2. 外装塗り仕上げ
 - 2.1 はじめに
 - 2.2 外装塗り仕上げの耐久設計に係る技術資料
 - 2.3 既存建築物の外装塗り仕上げの維持保全手法
 - 2.4 まとめ
3. 外壁タイル張り仕上げ及びセメントモルタル下地を設けた外壁仕上げ
 - 3.1 はじめに
 - 3.2 外壁タイル張り仕上げ及びセメントモルタル下地を設けた外壁仕上げの補修・改修技術の概要と課題
 - 3.3 外壁複合改修構工法（ピンネット工法）施工箇所の補修・改修
 - 3.4 タイル直張り仕上げ外壁（手張り工法）の改修工法
 - 3.5 注入口付アンカーピンについて
 - 3.6 まとめ
4. 外壁を構成する各種乾式パネルおよびパネル間の防水材料
 - 4.1 適用範囲
 - 4.2 各種外装材の現状
 - 4.3 写真等事例による劣化判定に活用する見本帳
 - 4.4 外壁の耐久設計事例の紹介
 - 4.5 外装カーテンウォール・パネル・サッシおよび外壁接合部の長寿命化のための要因整理
 - 4.6 まとめ
5. 防水
 - 5.1 はじめに
 - 5.2 防水の耐久設計に係る技術資料の整備
 - 5.3 既存建築物の防水の維持保全手法
 - 5.4 まとめ